

暮らし方にあわせて家も変わる？！

SDGsラジオを讀んでみよう！

人生が100年続くとしたら、みなさんは、どんな毎日をすごしたいですか？  
 子どものころは家族といっしょにすごし、大人になると仕事をしたり年を重ねると、体のようすや暮らし方も少しずつ変わっていきます。  
 そんな人生の変化にあわせて、住まいや暮らしを、長く支え続けることを大切にしているのが、  
 住まいづくりの会社「旭化成ホームズ」です。  
 子育ての時期には、家族が助け合いながら毎日を送れる工夫を、働き方が変われば、暮らしに合った使い方を、  
 年をとってからは、安心してらせるサポートを考えています。  
 暮らしにあわせて支え方を変えることは、みんなが長く元気にらせる社会づくりにもつながっていきます。  
 みなさんも、人生のいろいろな場面を思いうかべて、どんな支えがあったらうれしいか、考えてみましょう。

SDGsラジオの内容を、もっと詳しく知ろう！



がぞうさんしょう ねんれい とともに変わっていく  
 暮らしや家族のかたちのイメージ

今、日本は「人生100年時代」といわれています。これまでよりも長い人生を送る人が増える中で、子どものころは学校に通い、大人になると仕事をしたり、結婚をしたりするなど、暮らしのかたちは少しずつ変わっていきます。そして、子どもが生まれたり、おじいさん・おばあさんの年齢になったりすると、家族のかたちは少しずつ変わり、体のようすも変わっていきます。だからこそ、「そのときどきの暮らしに合った家」があることが大切だと考えられています。そこで、住まいづくりの会社「旭化成ホームズ」では、こうした人生の変化によりそいながら、それぞれの年齢の人が心地よくらせる住まいづくりに取り組んでいます。



旭化成ホームズでは、子育てをする家族向けに、家族どうしや周りに住む人とつながりやすい住まい「ヘーベルメゾンBORIKI」をつくっています。この住まいでは、困ったときに助け合いながら子どもを育てることができます。また、高齢者（シニア）向けの住まい「ヘーベルVillage」では、生活のようすを見守るサービスなどがあり、安心して毎日をすごすことができます。こうした住まいは賃貸住宅なので、人生の変化にあわせて住み替えることもできます。赤ちゃんからおじいさん・おばあさんまで、いろいろな年齢の人が安心してらせる住まいがあることは、人にやさしい社会をつくることにもつながっていきます。

がぞうさんしょう こそだ ひと す  
 画像参照：子育てをする人のための住まい「BORIKI」のイメージ（BORIKIの公式HPより）

キーワード

人生100年時代

多くの人々が100年近く生きようになった現代の社会を表す言葉です。長い人生を見ずえて、はたらき方や暮らし方などを考えることが大切だといわれています。

高齢者（シニア）

年を重ねた人のことをいいます。一般的には65歳以上の人を指すことが多いです。

賃貸住宅

家や部屋を買うのではなく、家賃を払って借りて住む住宅のことです。

対象ゴール



みなさんにできること！

それぞれの年齢のときにどんな家に住みたいか話し合ってみましょう。

おさらい

- 子どもから大人、高齢者へと、暮らしのかたちは人生の中で少しずつ変わっていく。
- 「旭化成ホームズ」は、人生の変化によりそう住まいづくりに取り組んでいる。
- 「旭化成ホームズ」は、子育て世代や高齢者が安心してらせる賃貸住宅をつくっている。

メモ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

